

# 広域災害応急対策拠点開設訓練

# 訓練実施概要

- 道の駅「朝霧高原」における「防災拠点自動車駐車場」制度運用の主な想定内容
  - (1) 南海トラフ地震巨大地震発生時における、警察庁などからの応援部隊が県内被災地へ展開する際に一時的に経由する機能
  - (2) 南岸低気圧停滞等に伴う関東一円等における広域的な降雪災害への支援拠点（現地調整本部）機能
- 訓練では広域的な降雪災害への支援拠点機能について、開設決定過程から現地調整本部設置迄の作業手順等を確認

訓練名称	実施日	実施時間帯	実施会場
広域災害応急対策拠点開設訓練	令和5年11月22日	14:00~15:30	第2駐車場（現地本部）等



訓練本部の様子



ドローンによる撮影画像



災害対策本部車内での対策会議



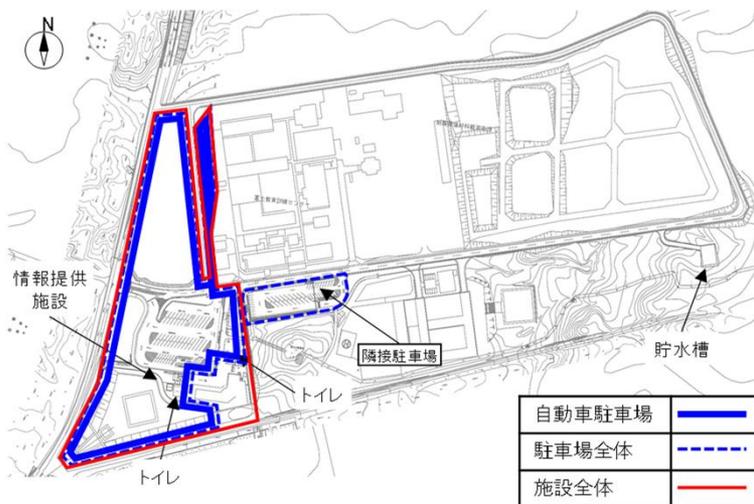
ホイールローダーによるスタック車の牽引

# 【参考】防災道の駅「朝霧高原」における防災拠点自動車駐車場の指定

- 道路法改正(令和3年3月31日公布、令和3年9月25日施行)により、広域災害応急対策の拠点となる防災機能を有する「道の駅」等について、国土交通大臣が『防災拠点自動車駐車場』として指定する制度を創設。
- 防災道の駅「朝霧高原」については、令和4年3月25日に、道の駅区域内の国道139号道路区域を「防災拠点自動車駐車場」に指定。

## ■施設配置と指定範囲

自動車駐車場又は自動車駐車場を含む施設の名称	道の駅「朝霧高原」の自動車駐車場
道路管理者	中部地方整備局
路線名	一般国道139号
所在地	静岡県富士宮市根原字宝山492番12



## ■広域災害応急対策の拠点としての利用について

	広域災害応急対策の拠点としての利用についての見解	目安への適合状況	
		道路区域	
駐車場規模	・2,500㎡以上の広さを有しており、充分な規模が確保できている。	道路区域	32,650 ㎡
		隣接駐車場	3,360 ㎡
		合計	36,010 ㎡
接する道路の構造	・2車線道路であり、広域災害応急対策の利用車両の通行に支障はない。	2車線	
接する道路の交通状況	・緊急輸送道路に接しており、広域災害応急対策の利用車両が容易に出入り可能である。	接している	
災害応急対策に係る施設の立地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士市地域防災計画において、「防災機能を有する道の駅を地域の防災拠点として位置付け、その機能強化に努める」、「道路利用者(観光客を含む。)の一時避難施設の提供」、「災害協定締結車両の集結地の提供」として位置づけ。</li> <li>・南海トラフ地震における静岡県広域受援計画において、「進出拠点(警察)」として位置づけ。</li> </ul>	県地域防災計画の位置づけ：なし 市地域防災計画の位置づけ：あり 富士宮市地域防災計画(令和2年度修正) その他 南海トラフ地震における静岡県広域受援計画(資料編)(令和3年3月)	
その他(機能及び体制)	・非常用電源設備、貯水槽を整備(耐震化含む)している。また、BCP策定済みであり、富士宮市及び静岡国道事務所との連絡体制を構築しており、必要な機能及び体制を整えている。	耐震化 無停電化 通信の確保 水の確保 BCP	整備済み 整備済み 整備済み 整備済み 策定済み

# 【参考】防災道の駅「朝霧高原」における防災拠点自動車駐車場の指定

○今後、災害時に「防災拠点自動車駐車場」が機能するために、道路管理者、静岡県警、富士宮市および道の駅「朝霧高原」の管理・運営者により、開設の手順、連絡方法、周知方法等について、防災訓練を通じて事前調整を実施。

## ■標識の設置状況

